

値千金！インカレへ導く奥村弾！



「代役」が「主役」に！
 緩やかに転がるボールは、まるで相手 GK をあざ笑うかのようにネットに収まった。逆転に湧くスタンド、エリア付近でできる歓喜の輪。チームをインカレへ導いたのは、出場停止の金久保に代わりに起用された奥村だった。

「あのゴールで逆転して、チーム全体も（勢いに）乗れたので良かった」と自身の得点を振り返るが、結果的にこれが決勝点になった。

前期は開幕戦からスタメンの座を掴み、7 試合に出場したが 1 得点と結果を残せず。後期に入ってから田中信や金久保、湯澤らのバックアップとしてベンチに座る日々が続いた。だが、「奥村はボールをとめるのがうまい。うちの選手の中で 1 番 2 番にうまい」と秋田監督も認めるテクニシャンは、その輝きを失ってはいなかった。

両サイドで起用可能な上に、高い技術を持ち合わせるなどジョーカーとしての資質は十分。インカレに向け、心強い「秘密兵器」が現れた。

◆ 奥村 情（おくむら じょう）
 1990 年 9 月 7 日生まれ。16 歳 60 ㎝。豊田大谷高（名古屋 U-18）出身。GMS 学部 G M 学科。

Manager Comment



（今日は）後半は勝ちたいという意欲も見れたし、動きだしも早かった。パスの正確性など（課題）もあるが、勝ちたいという意欲があった。前半は、中盤の 2 人も FW も引いてしまっていて、マークがつかないから、

結局あいだでボールを回されていた。それも修正できた。前半に 4 点も 5 点もとられたらダメだが、1 点なら跳ね返す力があるので、取られて後にきっちり立て直せば、チャンスを何回かつくるこ

とができる。そういうことを選手がもつと自覚出来ればよかった。（奥村について）あのくらいはやると思っていた。（最終戦は）何としても明治大学に土をつけたい。

<第 21 節終了時順位表>

	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	明治大学	14	4	3	43	16	+27	46
2	筑波大学	12	4	5	48	30	+18	40
3	駒澤大学	12	3	6	37	23	+14	39
4	国士館大学	11	4	6	35	30	+5	37
5	中央大学	9	6	6	43	38	+5	33
6	順天堂大学	9	5	7	34	31	+3	32
7	神奈川大学	8	4	9	31	35	-4	28
8	慶應義塾大学	8	3	10	31	32	-1	27
9	早稲田大学	7	5	9	31	30	1	26
10	流通経済大学	7	3	11	31	33	-2	24
11	法政大学	4	4	13	26	45	-19	16
12	拓殖大学	2	1	18	15	62	-47	7

<得点ランク>

- 1 赤崎 秀平(筑波大) 14 点
- 2 武藤 雄樹(流経大) 13 点
- 3 林 容平(中大) 11 点
- 4 岡本 達也(順大) 10 点

<アシストラック>

- 1 金久保 彩(駒大) 9 アシスト
- 小澤 司(筑波大)
- 3 野田 明弘(早大) 8 アシスト
- 金子 昌広(国士大)

長かった 2010 シーズンもいよいよ最終節を迎え、駒大は西が丘で最終戦を戦うことになる。対戦相手は、今季常にその背中を追いかけた明治大学。既に逆転優勝の可能性が消滅しているとはいえ、勝てば順位入れ替えもあり得るだけに、単なる消化試合とはなりそうにはない。「明治には絶対負けたくないという、強い気持ちでチーム全体にある」と、金正也主将も語気を強める。

前期の対戦では、粘り強く守りに守って 1-0。駒大らしいサッカーで勝利を手にした。明大はここ 3 試合で 1 分 2 敗と調子を落としていくだけに、しつかり叩いてインカレへ弾みをつけたいところだ。

鍵を握るのは、駒大のワンボランチを務める笠井雄太だ。迫力ある攻撃を繰り出してくる明大に対し、その攻撃を中盤の底でシャットアウトできれば、勝利はぐっと近づいてくる。

長い長いシーズンの締めくくり。今季の集大成を見せつけ、リーグ戦を勝利で終えたい。

Key Player : MF 笠井雄太



次節・勝利の鍵を握るであろう笠井。中盤の底で相手の攻撃を潰したい。

V S 明治大学

11月21日 @西が丘サッカー場 13時50分 キックオフ